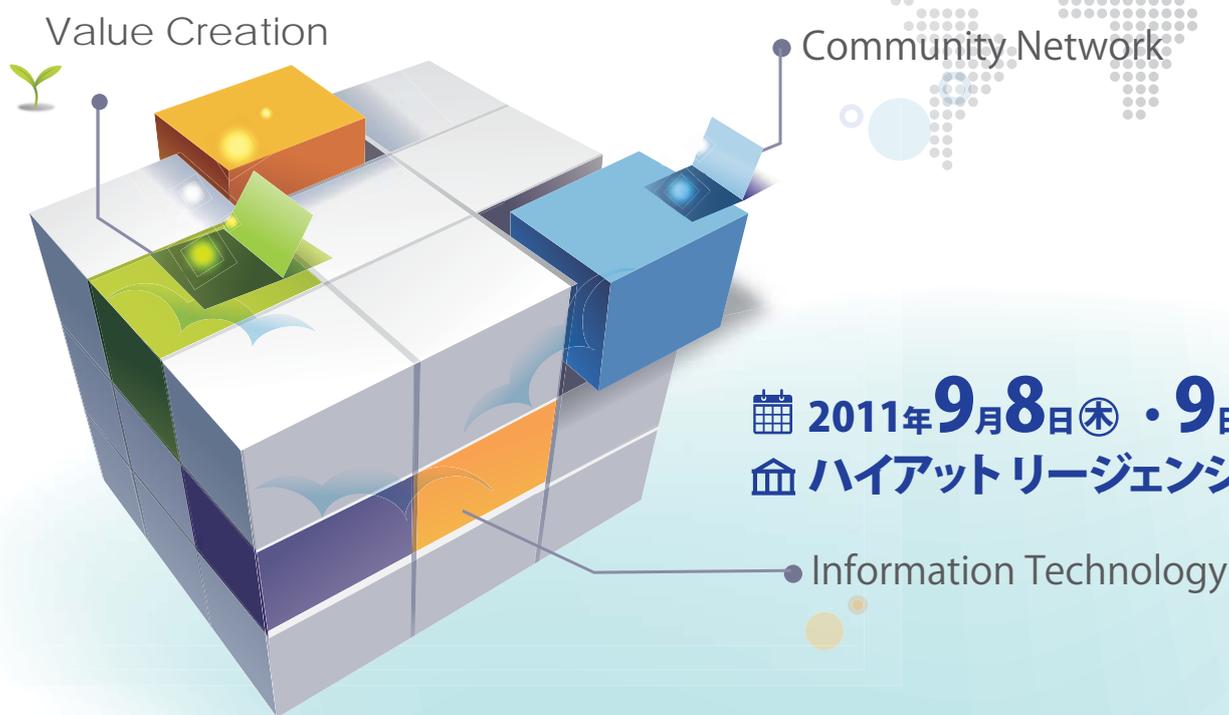


# JUASスクエア2011

## ITがプロデュースする新たな価値創造

— 構造変革への貢献 —



2011年9月8日(木)・9日(金)

ハイアットリージェンシー 東京

## 開催報告書

主催：社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

プラチナ協賛 インテル株式会社 / 株式会社NTTデータ



変える力を、ともに生み出す。  
NTT DATAグループ

ゴールド協賛 株式会社アイ・アイ・エム  
アクセンチュア株式会社  
ヴィエムウェア株式会社  
SAS Institute Japan株式会社  
新日鉄ソリューションズ株式会社  
株式会社ソフトロード  
デロイトトーマツ リスクサービス株式会社  
トリップワイヤ・ジャパン株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
日本マイクロソフト株式会社  
株式会社 野村総合研究所 / 富士通株式会社



accenture  
ハイパフォーマンスの実現へ



シルバー協賛 アカマイ・テクノロジーズ合同会社  
日本電気株式会社



ブロンズ協賛 株式会社アシスト / KDDI株式会社  
(50音順)



特別協力：ガートナー・ジャパン株式会社

## 開催概要

名 称 : JUAS スクエア 2011

「IT がプロデュースする新たな価値創造」～構造変革への貢献～

日 時 : 2011年9月8日(木)・9日(金) 2日間

参加者 : 企業の経営層、CIO、IT 部門・経営企画部門、事業戦略部門の管理職  
IT プロバイダーのマーケティング・戦略立案部門の責任者

参加費 : 有償

会 場 : ハイアット リージェンシー 東京 (西新宿)

主 催 : 社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

## 参加対象

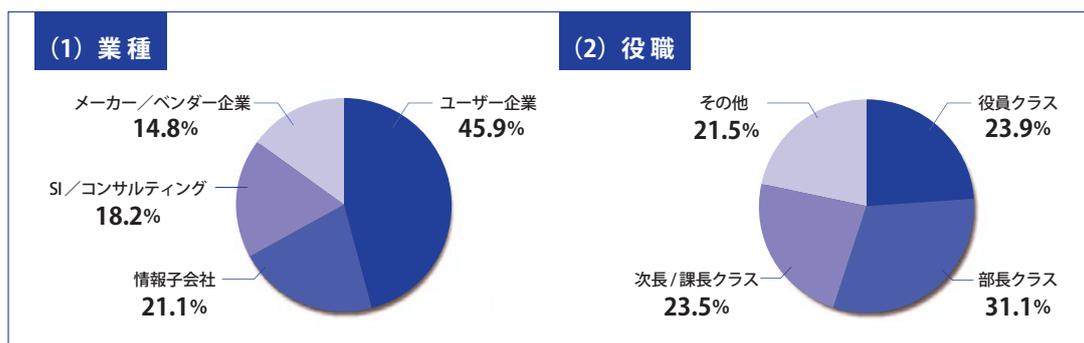
### 【役職・部署】

- 企業の経営層
- CIO
- IT 部門・経営企画部門・事業戦略部門の管理職クラス
- IT プロバイダーのマーケティング・戦略立案部門の責任者

### 【参加者】

		2011	2010	2009
事前登録者		860名	809名	811名
来場者	1日目(9月8日)	695名	668名	653名
	2日目(9月9日)	578名	580名	581名
	合計(延べ)	1,273名	1,248名	1,234名
	ユニーク数(代理・交代含む)	949名	912名	986名
総登録数		893名	837名	828名

### 【登録者参加比率】



# JUAS スクエア 2011 アンケート結果

## 【イベント全般に関する評価】

	2011	2010	2009	2008
1. 全体的な満足度	94.2 点	92.5 点	90.1 点	80.5 点
2. セッション・プログラム・トラック構成	89.6 点	89.6 点	85.7 点	75.8 点
3. 講演者・講演内容の充実度	93.3 点	90.4 点	89.2 点	78.0 点
4. 当日の登録・受付対応	90.7 点	84.3 点	88.5 点	78.5 点
5. 全体の運営（会場案内・移動のしやすさ）	86.4 点	82.7 点	87.5 点	75.3 点
6. 事前事務局の対応	90.7 点	90.1 点	87.4 点	74.8 点

## 【今回のコンファレンスを同僚または知人に推薦しますか】

	2011	2010	2009	2008
推薦する	97.7%	93.7%	88.6%	88.4%
推薦しない	2.3%	6.3%	11.4%	11.6%

## 【推薦する主な理由】

(コメントは原文のままに記載しています)

多様な業種の事例や考え方を知ることが出来る

タイムリーな事例が多く、ユーザー企業の生の声を聞けた

内容が役に立つものが多く充実している

IT のビジネスへの活用に関する他企業の取り組みについて、良質の情報が得られる

各企業の技術・ビジネス等の話を聴くことが出来る

社内セミナーでは入手することの出来ない情報を入手できる

具体的な経験談を数多くきけるので大変参考になる

幅広いテーマを短期間で情報収集できる

最新情報動向が得られる

視座を確立するのに役立つ

異業種の方々の話がきける

この会議も内容的に充実してきておりユーザーの悩みの共有に有益

日本の有名企業の取り組みなどを直接聞くことが出来る

自社の今後に役立つ

最新の業界の情報入手

情報系業務関係者は同様の課題を共有できる

ディスカッションテーブルが良かった

他

ディスカッションテーブル



ディスカッションテーブル



## 主な参加企業・団体

- 株式会社アイ・アイ・エム  
株式会社アイ・ティ・イノベーション  
株式会社アイ・ティ・フロンティア  
株式会社IJ グローバルソリューションズ  
株式会社IHI  
アイエス情報システム株式会社  
アイエックス・ナレッジ株式会社  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
株式会社あいおい保険システムズ  
IT エンジニアリング株式会社  
IT コーディネータ協会  
アカマイ・テクノロジーズ合同会社  
アクセンチュア株式会社  
旭化成株式会社  
旭硝子株式会社  
アサヒグループホールディングス株式会社  
アサヒビジネスソリューションズ株式会社  
アサヒマネジメントサービス株式会社  
株式会社アシスト  
味の素株式会社  
味の素システムテクノ株式会社  
アステラス製薬株式会社  
アフラック  
EPM イノベーション  
イオン株式会社  
イオンアイビス株式会社  
一般財団法人日本情報経済社会推進協会  
出光興産株式会社  
伊藤忠商事株式会社  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
株式会社インテック  
インテル株式会社  
インフォコム株式会社  
ヴィップシステム株式会社  
株式会社うえじま企画  
AJS 株式会社  
AGS 株式会社  
株式会社エース・システム・エンジニアリング  
株式会社エクサ  
エス・イー・エス株式会社  
STK  
株式会社 NTT データ  
NTT データソフィア株式会社  
株式会社エヌ・ティ・ティエムイー  
エヌアイシー・インフォトレード株式会社  
株式会社 NEC 情報システムズ  
NEC ソフト株式会社  
株式会社 NHK メディアテクノロジー  
NSK ネットアンドシステム株式会社  
株式会社 NS ソリューションズ関西  
株式会社 NSD  
株式会社 NHK メディアテクノロジー  
NKSJ システムズ株式会社  
株式会社 NTT データ  
NTT コムウェア株式会社  
NTT コムウェア西日本株式会社  
株式会社 NTT データ経営研究所  
株式会社 NTT 東日本ソリューションズ  
株式会社 NYK Business Systems  
株式会社 荏原製作所  
株式会社 FIS  
エム・スクエア株式会社  
株式会社 エル・ティー・エス  
株式会社オーク情報システム
- 大阪ガス株式会社  
株式会社オージス総研  
株式会社大林組  
株式会社岡村製作所  
国立大学法人 岡山大学  
オフィス栗山  
オリックス・システム 株式会社  
ガートナージャパン株式会社  
会計検査院  
花王株式会社  
カシオ計算機株式会社  
株式会社カジマアイシティ  
鹿島建設株式会社  
片貝システム研究所  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
関西電力株式会社  
関西システムソリューションズ株式会社  
キャノンマーケティングジャパン株式会社  
九州工業大学  
九州大学大学院  
九州電力株式会社  
キュービー株式会社  
京セラ株式会社  
株式会社協和エクシオ  
キリンビジネスシステム株式会社  
キリンホールディングス株式会社  
窪田 IT 事務所  
株式会社 クリス  
慶應義塾大学  
経済産業省  
KDDI 株式会社  
京阪ビジネスマネジメント  
株式会社 神戸製鋼所  
コープ情報システム株式会社  
株式会社コーユビズインフォメーションテクノックス  
コグニザントジャパン株式会社  
国分株式会社  
国民健康保険中央会  
コクヨビジネスサービス株式会社  
株式会社コスモコンピュータセンター  
コニカミノルタ情報システム株式会社  
コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社  
コニカミノルタホールディングス株式会社  
コベルコシステム株式会社  
株式会社 小松製作所  
埼玉県上里町役場  
財団法人東日本不動産流通機構  
さくら情報システム株式会社  
SAS Institute Japan 株式会社  
サッポロビール株式会社  
サントリービジネスエキスパート株式会社  
サンネット株式会社  
株式会社サンモアテック  
株式会社シーイーシー  
株式会社シーイーシー  
株式会社 CSK  
シービー・リチャードエリス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本情報システム  
JA 共済連  
JX 日鉱日石インフォテクノ株式会社  
JX 日鉱日石エネルギー株式会社  
JFE システムズ株式会社  
JFE スチール株式会社  
株式会社 JSOL
- 株式会社 ジェイティービー  
株式会社 JTB 情報システム  
株式会社 JIC  
JX 日鉱日石インフォテクノ株式会社  
株式会社ジェーエムエーシステムズ  
四国電力株式会社  
シスコシステムズ合同会社  
株式会社 資生堂  
株式会社シマンテック  
株式会社 ジャステック  
株式会社 JAL インフォテック  
情報サービス産業協会  
独立行政法人 情報処理推進機構  
道通ラボ  
信越化学工業株式会社  
新日鉄ソリューションズ株式会社  
新日本製鐵株式会社  
新明和ソフトテクノロジー株式会社  
スカイワード インフォメーション システム株式会社  
スミセイ情報システム株式会社  
住友ゴム工業株式会社  
住友電気工業株式会社  
住友電工情報システム株式会社  
株式会社セルスフォース・ドットコム  
積水化学工業株式会社  
石油資源開発株式会社  
株式会社セブン & アイ・ホールディングス  
全国共済農業協同組合連合会  
全日空システム企画株式会社  
全日本空輸株式会社  
ソニー株式会社  
ソニー生命保険株式会社  
ソニー損害保険株式会社  
ソフトバンクテレコム株式会社  
ソフトバンクモバイル株式会社  
株式会社損害保険ジャパン  
第一三共株式会社  
第一生命情報システム株式会社  
大成建設株式会社  
大成ロテック株式会社  
大同火災海上保険株式会社  
大日本印刷株式会社  
株式会社大和証券グループ本社  
株式会社大和総研ビジネス・イノベーション  
宝ネットワークシステム  
宝ホールディングス株式会社  
匠システムアーキテクト株式会社  
武田薬品工業株式会社  
田辺三菱製薬株式会社  
株式会社丹青社  
中央三井インフォメーションテクノロジー株式会社  
中外製薬株式会社  
株式会社 中電シーティーアイ  
中部電力株式会社  
株式会社 DNP 情報システム  
TIS 株式会社  
T&D 情報システム  
DIC 株式会社  
DIC インフォメーションサービス  
株式会社 DNP 情報システム  
株式会社ティージー情報ネットワーク  
帝人株式会社  
株式会社ディノス  
テクノロジー・オブ・アジア株式会社

株式会社デジタルリンク  
 デロイトトーマツリスクサービス株式会社  
 電気事業連合会  
 電源開発株式会社  
 株式会社 電通  
 株式会社トウ・ソリューションズ  
 東亜コンサルタント株式会社  
 東京海上日動火災保険株式会社  
 東京海上日動システムズ株式会社  
 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社  
 東京ガス株式会社  
 東京工業大学  
 東京コンサルティング株式会社  
 株式会社東京証券取引所  
 株式会社統計システム研究所  
 東芝情報システム株式会社  
 東芝ソリューション株式会社  
 東芝テック株式会社  
 東北電力株式会社  
 東洋インキ SC ホールディングス株式会社  
 東レ株式会社  
 株式会社東レシステムセンター  
 TOTO 株式会社  
 特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会  
 独立行政法人 情報処理推進機構  
 カブドットコム証券株式会社  
 凸版印刷株式会社  
 株式会社トヨタコミュニケーションシステム  
 トリップワイヤ・ジャパン株式会社  
 永山コンピューターサービス株式会社  
 西日本高速道路株式会社  
 西日本電信電話株式会社  
 西日本旅客鉄道株式会社  
 株式会社ニチレイ  
 株式会社ニチレイロジグループ本社  
 日揮株式会社  
 日揮情報システム株式会社  
 日興システムソリューションズ株式会社  
 日産自動車株式会社  
 日清オイリオグループ株式会社  
 日新火災海上保険株式会社  
 日信ソフトエンジニアリング株式会社  
 ニッセイ情報テクノロジー株式会社  
 日中 CIO 友好交流委員会  
 日鉄日立システムエンジニアリング株式会社  
 株式会社日本アクセス  
 日本通運株式会社  
 日本ディスプレイ株式会社  
 日本電気株式会社  
 日本発条株式会社

日本ハム株式会社  
 日本放送協会  
 日本アイ・ビー・エム株式会社  
 日本アイ・ビー・エム・サービス株式会社  
 日本ガイシ  
 株式会社日本経営データ・センター  
 日本航空株式会社  
 日本出版販売株式会社  
 株式会社日本総合研究所  
 日本テラデータ株式会社  
 日本マイクロソフト株式会社  
 日本ユニシス株式会社  
 株式会社ネクスウェイ  
 株式会社ネクステデュケーションシンク  
 ネットワンシステムズ株式会社  
 株式会社野村総合研究所  
 株式会社パソナ  
 株式会社パソナテック  
 株式会社 PAX  
 パナソニック株式会社  
 株式会社ハピネット  
 ハマゴムエイコム株式会社  
 浜松総務部有限会社  
 一般社団法人 PMI 日本支部  
 PM ブロ  
 日置電機株式会社  
 東日本電信電話株式会社  
 東日本旅客鉄道株式会社  
 株式会社日立インスファーマ  
 株式会社日立コンサルティング  
 日立公共システムエンジニアリング株式会社  
 株式会社日立製作所 情報・通信システム社  
 日立電子サービス株式会社  
 株式会社日立フーズ & ロジスティクスシステムズ  
 日立フーズ & ロジスティクスシステムズ  
 一橋大学  
 Hiro Business Solutions 株式会社  
 株式会社フォアサイト  
 富士ゼロックス株式会社  
 富士ゼロックス情報システム株式会社  
 株式会社富士通アドバンストエンジニアリング  
 富士通エフ・アイ・ピー株式会社  
 富士通株式会社  
 株式会社富士通東北システムズ  
 株式会社富士通マーケティング  
 株式会社富士通ラーニングメディア  
 株式会社フュージョン  
 フューチャーアーキテクト株式会社  
 プライスウォーターハウスクーパース株式会社  
 プリヂストンソフトウェア株式会社

古河インフォメーション・テクノロジー株式会社  
 ブレイズテクノロジー株式会社  
 株式会社 プロセスネットワーク  
 ベニックスソリューション株式会社  
 株式会社ベネッセコーポレーション  
 本田技研工業株式会社  
 政井技術士事務所  
 丸文情報通信株式会社  
 三井造船株式会社  
 三井物産株式会社  
 三井不動産株式会社  
 三菱総研 DCS 株式会社  
 三菱化学株式会社  
 三菱商事株式会社  
 三菱総研 DCS 株式会社  
 株式会社三菱総合研究所  
 三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社  
 三菱電機情報ネットワーク株式会社  
 株式会社三菱東京 UFJ 銀行  
 武蔵大学  
 株式会社 村田製作所  
 明治安田システム・テクノロジー株式会社  
 森永乳業株式会社  
 森永ビジネスパートナー株式会社  
 山崎製パン株式会社  
 ヤマト運輸株式会社  
 ヤマトシステム開発株式会社  
 ヤマハ株式会社  
 ヤマハ発動機株式会社  
 ヤンマー情報システムサービス株式会社  
 株式会社ユー・エス・イー  
 有限責任監査法人トーマツ  
 株式会社ユーコート・インフォテクノ  
 UCC ホールディングス株式会社  
 郵便局株式会社  
 ライオン株式会社  
 株式会社ライフプレナー・グループ・ジャパン  
 株式会社リクルート  
 株式会社リコー  
 リコー・ジャパン株式会社  
 株式会社菱化システム  
 株式会社レミントン  
 株式会社ローソン  
 株式会社ワイ・ディ・シー  
 他

(五十音順)

#### 基調講演



#### 交流会



#### 交流会アトラクション



基調講演

9:35



10:35



株式会社 資生堂  
代表取締役 会長  
前田 新造 氏

資生堂の企業理念の実現に向けて  
～グローバル時代における資生堂の戦略～

資生堂の企業理念、「私たちは、多くの人々との出会いを通じて、新しく深みのある価値を  
発見し、美しい生活文化を創造します」。この理念をグローバルにも浸透・定着させていく  
資生堂の取り組みを、中国事業などの事例を通じて紹介し、日本企業におけるグローバル化  
への克服課題や、トップとしての決断事例を紹介いたします。

12:00 ▶ 12:45 ランチョンセッション

松花堂井当つき

L-1 変革に備える“Platform-based Information Management”

クラウドが今や社会基盤となる中で、情報システムは人間・実世界との融合により新しいアーキテクチャへ。その中で企業情報システムは、様々なIT技術が取り込まれたプラットフォームとなる。そのプラットフォーム化への流れと活用について説明致します。併せて新世代のデータセンター活用について、デバイスとクラウドの共進化の進展を踏まえBCP観点からの解説致します。

会場 1



新日鉄ソリューションズ株式会社  
常務取締役  
ITインフラソリューション事業本部長  
宮辺 裕 氏

L-2 Microsoft Hyper-V Cloud  
～マイクロソフトのプライベートクラウド～

現在、多くの企業がクラウドサービスを検討していますが、それぞれの企業のビジネス戦略やIT環境に合ったクラウドサービスの導入が求められる一方で、実際には自社におけるクラウド化（プライベートクラウド）とパブリッククラウドの使い分けや導入にあたって、仮想化の対象やセキュリティで効率のよい運用の検討など、その検討項目は多岐に渡り、多くのお客様がどこから始めればいいのか悩みを抱えています。本セミナーでは、マイクロソフト社内ITのベストプラクティスを交えながら弊社のクラウド戦略をベースにクラウドのメリットやその方法をご紹介します。今後のクラウド対応への参考にして頂ければと思います。

会場 2



日本マイクロソフト株式会社  
クラウド&ソリューションビジネス統括本部  
インフラストラクチャー営業本部長  
越智 史雄 氏

13:00 ▶ 13:55 ユーザー事例セッション

A-1 武田薬品におけるIT活用

武田薬品では情報システムの戦略・企画機能を社内にもち、開発・運用機能をアウトソーシングしています。社内機能は事業戦略部の一機能として会社全体の戦略・重要施策と整合をとりながら進めています。近年急速に進めてきたグローバルなビジネス運営体制の整備とそれを支えるIT活用への取り組みについて紹介いたします。

会場 1



武田薬品工業株式会社  
事業戦略部  
シニアマネジャー  
沼田 智 氏

B-1 人材育成について

情報システム分野においても人材は重要な経営資産です。その人材資産の価値を高めたり、また個々人の満足感を高めたりするためには、人材育成自体の考え方や施策に加えて、その土台となる組織や組織運営の施策、業務遂行の考え方も重要です。ユーザー企業における人材育成や組織運営などの経験に基づいて、これらの考え方や具体的な施策をご紹介します。

会場 2



株式会社東レシステムセンター  
相談役  
重松 直 氏

14:10 ▶ 15:05 コンサルティングセッション

A-2 仮想化を用いたIT統合基盤構築のススメ  
～仮想化技術はあなたに何をもたらすか～

事業単位や業務単位別にシステム開発や運用を行う企業が多い現状において、仮想化技術を活用したシステム統合を行うと予想外の性能問題を招くことがあります。そのような事態を予防するために、縦割り組織によるシステム開発・運用の弊害を明確にし、それらを解決する手法を考察します。またシステム統合を行うIT統合基盤をスリム化し、効果的なシステム開発・運用の体制を確立するためのチェックポイントを紹介いたします。

会場 1



株式会社アイ・アイ・エム  
執行役員  
兼 コンサルティング・フォー・コンピュータワーマンズ  
上級コンサルタント  
住友 邦男 氏

B-2 企業を成長させる情報活用の環境構築  
～日本企業のためのビジネス・アナリティクス～

日本企業は優れた生産財を供給することで世界にその地位を確立してきましたが、その源泉となったのは「チームワークによる知の創出」です。一方、企業の情報活用のためのITシステムは、レポートやOLAPに代表されるBI（ビジネス・インテリジェンス）から、将来予測・最適化までを支援するBA（ビジネス・アナリティクス）へと進化したことで、ようやく日本の知の創出を支援し、さらにドライブしようとするまで来ました。本セッションでは、日本企業が情報活用により企業価値を高める手段としてBAを取り込んで行く上でのIT要件、IT組織について解説します。

会場 2



SAS Institute Japan 株式会社  
ビジネス開発本部  
プラットフォームグループ  
部長  
池本 洋信 氏

15:20 ▶ 16:15 ユーザー事例セッション

A-3 コマツにおけるIT部門の役割と組織力の強化

コマツの建設・鉱山機械ビジネスは全世界で展開されています。その活動を支える基幹システムやネットワークを始め、グループ全体のICTを統括するのが情報戦略本部です。今年度から、グループの組織力、特にICT能力向上を目指し、業務プロセスまで踏み込んだICT教育を開始しました。システムを理解するには、まずそのベースとなるオペレーションの理解が不可欠です。

会場 1



コマツ（株式会社小松製作所）  
執行役員  
情報戦略本部長  
山根 宏輔 氏

B-3 グローバル化・クラウド化時代のビジネスIT基盤の事例紹介  
～SOA・ERP・SaaS・プライベートクラウド等を考える～

多くの企業がグローバル化への対応を進める一方、ITの世界ではクラウドコンピューティングの登場で、新たなIT基盤のあり方が模索されています。このグローバル化とクラウド化の流れをどのように捉えるのか？ SOA、ERP、SaaS、プライベートクラウド等をキーワードにオリンパスの事例をご紹介します。

会場 2



オリンパス株式会社  
コーポレートセンターIT本部  
本部長  
北村 正仁 氏

16:30 ▶ 17:25 コンサルティングセッション

A-4 これからの企業IT—震災後のプライオリティ

東日本大震災以降、日本企業は今までの事業成長のみならず、事業継続の観点からも様々な取り組みを実施されています。今回の災害を受けBCPやディザスタリカバリの大幅な見直しや、短期～中長期での対策が必要とされる節電への喫緊の対応が求められる今、データセンターやIT設備の在り方だけでなく社員の働き方にも影響を与え、改めて企業ITの在り方が問われています。今後、企業ITはどうあるべきかについて、災害時のIT課題や問題点等の事例を踏まえ、講演いたします。

会場 1



アクセントチュア株式会社  
テクノロジーコンサルティング本部  
イノベーション&アライアンス統括  
エグゼクティブ・パートナー  
沼畑 幸二 氏

B-4 企業の競争力を支えるIT活用領域とは  
～顧客・製品・サービス領域への拡大に向けて～

パッケージソフトウェアやクラウドサービスの活用が急速に進展してきており、基幹システムの開発と維持を主体としてきたIT部門は、その存在意義の変容を迫られています。IT部門が企業の競争力に貢献できる領域は何なのか、市場の構造変化から受ける影響や先進企業のIT活用事例を交えながら考察します。

会場 2



株式会社 野村総合研究所  
システムデザインコンサルティング部  
部長  
館野 修二 氏

17:40 ▶ 19:30 交流会

ランチョンセッションならびにコンサルティングセッションは協賛各社の提供プログラムです。

午後のセッションはすべて要予約です。

# 特別講演・コンサルティング

10:45



11:45



株式会社 NTT データ  
代表取締役副社長執行役員  
**岩本 敏男氏**

## 変える力を、ともに生み出す。 ~ IT で貢献する日本復興 ~

日本は震災という国難に襲われ、企業のみならず、社会システムのあり方までが大転換を求められています。IT をフル活用した最先端の産業モデル構築など、復旧を超え日本復興に貢献する IT の役割について提言いたします。

12:00 ▶ 12:45

ランチョンセッション

松花堂弁当つき

### L-3 コスト半減のエイジレス IT 戦略 ~ システムリフォーム ~

日経コンピュータで「さらば新規開発 IT リフォームで投資効果を最大化」と大きく報道されたように、リフォームの利用が広がり、大きな成果を上げております。その手法を編み出した当社は、130 を超える開発経験の元に、格段の高品質、低コスト、低ユーザー負担のシステムリフォームをご紹介します。

- ・システムリフォームの概要
- ・システムリフォームが IT 業界を大きく変える理由
- ・阪急阪神グループでのリフォーム事例の紹介

会場  
5



株式会社ソフトロード  
代表取締役社長  
**劉 忱氏**  
アイテック阪急阪神株式会社  
ビジネスソリューション事業本部  
営業部 部長  
**飛田 正之氏**

### L-4 IBM の次世代 IT ビジョン ~ Smarter Computing ~

年々増加する保守運用費用、システム利用における非効率性、新サービスの即時提供の要請、情報爆発と膨大な蓄積データから知見を獲得する必要性 - こうした我々をとりまくさまざまな課題を解決するために、IBM は今後 10 年をみすえた新しいインフラ構築のためのビジョン「Smarter Computing」を提唱しています。本セッションでは、これらの課題を解決するための IBM の取り組み、お客様事例ならびに実現手法について解説いたします。

会場  
6



日本アイ・ビー・エム株式会社  
システム製品事業  
執行役員  
**三瓶 雅夫氏**

13:15 ▶ 15:05

ディスカッションテーブル

### C-1 「動かないコンピュータ」はなぜ動かなかったのか ~ 失敗事例から考察する IT と事業戦略のあり方について ~

本当に動かなかったわけではなくとも、「度重なる追加要求により大幅にコストが増加した」「仕様通りに作られたにもかかわらず想定された費用対効果が出ない」など、経営の視点から見て成功したとは言いがたいプロジェクトの経験を持つ方は多いのではないのでしょうか？

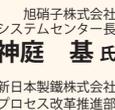
会場  
3



DIC 株式会社  
情報システム部長  
**北村 俊伸氏**  
副議長

本ディスカッションテーブルでは、フォーラムに参加している各社が過去に経験した事例を持ち寄り、失敗から学ぶプロジェクト成功の鍵について議論を行います。

会場  
3



旭硝子株式会社  
情報システムセンター長  
**神庭 基氏**  
新日本製鐵株式会社  
業務プロセス改革推進部  
部長  
**真辺 純裕氏**  
株式会社損害保険ジャパン  
IT 企画部  
部長  
**北川 栄一氏**

### D-1 クラウド時代の情報部門 期待と課題

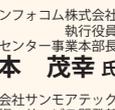
クラウドは、プライベートクラウドも含めればもはや机上の概念から現実のソリューションとして定着しつつあります。また今回の震災で柔軟性や迅速性など BCM の観点からもクラウドサービスがあらためて注目されています。情報部門では、クラウド活用が経営層やユーザー部門から期待される一方、採用の評価軸をどう定めるか、セキュリティなど社内規定をどう適応するかといった課題が浮上しています。クラウド時代の情報部門の在り方についてニーズや課題を紐解きつつ議論したいと思います。

会場  
4



新日鉄ソリューションズ株式会社  
常務取締役  
**謝敷 宗敬氏**  
副議長

会場  
4



インフォコム株式会社  
執行役員  
データセンター事業本部長  
**江本 茂幸氏**  
株式会社サンアテック  
技術・サービス開発部  
マネージャー  
**寺下 真介氏**  
日揮情報システム株式会社  
経営企画室長  
**飯島 雅氏**

13:15 ▶ 15:05

JUAS クローズアップセッション

### E-1 「IT 活用の壺」プロジェクトリーダー達の真剣議論 「IT だけでは勝てない！ ツボを押えて溝を越える」 ~ 公開研究会 業務改革は「しくみの構築と定着」 ~

IT 活用研究会は、ユーザー目線で、業務改革に直結する IT 導入のあり方を研究しています。最新 IT ツールが生活をどんどん便利にしていますが、企業では、便利な IT ツールの導入だけで、企業の競争優位をもたらすでしょうか？ 日々進化している IT を効果的に活用するには、押えておかなければならない「ツボ」と、越えなければならぬ「溝」が社内にはたくさんあることがわかってきました。各社の業務改革としくみの構築ノウハウについての真剣議論を公開します。

会場  
5



JUAS IT 活用研究会  
議長団  
花王株式会社  
**浜田 文吾氏**  
伊藤忠商事株式会社  
**法月 眞澄氏**  
積水化学工業株式会社  
**竹内 守氏**  
株式会社日立コンサルティング  
**伊藤 泰樹氏**  
JFE スチール株式会社  
**川島 俊明氏**  
株式会社ローソン  
**石原 稔氏**

15:35 ▶ 17:25

ディスカッションテーブル

### C-2 短期施策を超えた真の BCP へのチャレンジ ~ 「想定外」はなし、BCP は「着眼大局着手小局」で ~

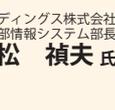
3月11日、その日は、我々情報システムに携わる者にとって、BCP 再考の契機となりました。「想定外」という言葉を失った今、BCP を体系的に捉え、各企業の業種業態、経営方針に沿った投資効果を踏まえた、継続的な BCP 対策が必須となります。本ディスカッションテーブルでは、皆さんとともに一過性ではない、真の事業継続のための次の一手を考えていきたいと思います。

会場  
3



東レ株式会社  
情報システム部門長  
**西 忠彦氏**  
副議長

会場  
3



サッポロビール株式会社  
IT ソリューション部長  
**駒澤 正樹氏**  
東京海上日動火災保険株式会社  
IT 企画部部長  
**玉野 肇氏**  
東洋インキ SC ホールディングス株式会社  
生産物流本部情報システム部長  
**村松 禎夫氏**

### D-2 ホンマでっか？ IT 主導で業務改革

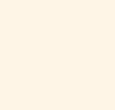
「システムを開発し運用・保守する存在から、業務改革の推進役へ」と、IT 部門に対する期待は益々高まっていますが、「企業 IT 動向調査 2011」の結果からは、こうした期待に応えられている企業は半数に満たないといった現実も見えてきます。業務部門に一歩踏み込み、IT 主導で業務改革を進めるのは中々大変なこと。我々が果たすべき役割と、果たすために取り組むべきことについて、皆さんと一緒に議論したいと思います。

会場  
4



関西電力株式会社  
経営改革・IT 本部  
IT 企画部長  
**下村 匡氏**  
副議長

会場  
4



パナソニック株式会社 理事  
コーポレート情報システム社 社長  
**青山 光洋氏**  
住友電気工業株式会社  
情報システム部長  
**奈良橋 三郎氏**

15:35 ▶ 17:25

JUAS クローズアップセッション

### E-2 あなた「情報システムをマネジメント」していますか？ ~ 情報システムにおけるマネジメントの本質に迫る ~

東日本大震災を機に繰り返される「想定外」というキーワードは、我々に何を突きつけているのでしょうか。おおきなシステム障害が企業の社会的信頼すら揺るがしがねないなか、そして「クラウド・コンピューティング」の実用が目の前に迫るなかで、担うべき役割とは何か？ 皆さまと共に論じて認識を深めたいと思います。

会場  
6



JUAS システム運用研究会  
議長

JUAS システム運用研究会  
部長  
JX 日鉱日石インフォテック/株式会社  
システム統括部  
副部長  
技術士 (情報工学部門) 文部科学省登録  
(独) 情報処理推進機構 (IPA)  
プロフェッショナル委員  
**上野 耕司氏**  
副議長

株式会社東レシステムセンター  
相談役  
**重松 直氏**  
大同火災海上保険株式会社  
取締役情報システム部長  
**島田 洋之氏**  
株式会社 JTB 情報システム  
常務取締役 経営企画部長  
**野々垣 典男氏**

# 基調講演

9:20



10:20



東日本旅客鉄道株式会社  
取締役副会長  
**小縣 方樹氏**



インタビュー：  
ガードナー・ジャパン株式会社  
リサーチグループバイスプレジデント  
**山野井 聡氏**

ビジネスにおけるイノベーションの実現にICTはどのように貢献するのか。またその実現に向けて、CIOやIT組織は何をすべきか。東日本旅客鉄道が推進する、ICTを駆使した新規事業領域の要諦を、インタビューを通じて掘り下げます。

## ICT が変えるコア・ビジネスの未来

11:50 ▶ 12:35 ランチョンセッション

松花堂弁当つき

### L-5 ITシステムの可視化による投資効率最適化の実現 ～システムリソース最適配分のために～

会場 ①



株式会社アイ・アイ・エム  
営業本部 東日本営業部  
第二営業課  
シニアマネージャ  
**森山 哲臣氏**

システム部門長の方々は、自社のシステムの現状や投資対効果について、経営陣に的確にかつ簡潔に説明することが求められるようになりまして。そのためには、システムの稼働状況や有効度に関する情報を正しく、さらには分かりやすく把握できる仕組みが必要になります。本セッションでは、システムの利用状況や活用状況を効率的に確認するための仕組みをご紹介します。

### L-6 クラウド時代に、これからの仮想化で実現すべきポイント ～仮想化初期の総括とクラウドに向けて～

会場 ②



VEIエムウェア株式会社  
プロフェッショナル サービス  
シニア コンサルタント  
**岡 浩太郎氏**

サーバー統合の技術としての仮想化採用が進み、多くの企業では、インフラ統合や共通基盤化、BCPへの適用など本格展開に向けた検討段階にきています。一方、急速に注目を集めているクラウドですが、仮想化とクラウドの境界が不明確なまま議論が進んでいる場合も多く見られます。本セッションでは、お客様の仮想化環境を構築してきたコンサルタントより、クラウドと密接に関わる土台としての仮想化について、これまでの課題を整理し、クラウド時代に各社に最適なビジネスインフラのタイプ設定、実現に向けてのキーポイントについて解説します。

12:50 ▶ 13:45 コンサルティングセッション

### A-5 ビジネスの価値創出と革新をもたらすIT経営の 実践的研究の紹介と日本への期待

会場 ①



インテル コーポレーション  
インテル・ラボ  
インテル・ラボ・ヨーロッパ・ディレクター  
シニア・プリンシパル、エンジニア  
**マーティン・カーリー氏**

旧来のフレームワークは、ITそのものの評価には成果をあげてきましたが、CIOや経営層にとって真の課題である、ビジネス価値創出や事業への貢献度を測定し向上させるには満足いくものではありませんでした。インテルでは産学協同研究体を設立し、約5年にわたりグローバル企業やアカデミーパートナーとともに実践的研究活動を推進してきました。本セッションでは、これらの活動を事例をまじえて紹介するとともに、日本での研究活動の有用性について論じます。



※同時通訳あり

### B-5 ICTによる事業継続対応の強化とワークスタイル変革 ～人と地球に優しい情報社会の実現を目指して～

会場 ②



日本電気株式会社  
プラットフォーム  
マーケティング戦略本部  
本部長  
**秋本 富士夫氏**

東日本大震災を期に、自治体・企業等でのリスクマネジメントとして事業継続対策(BCP)の必要性と、今後のエネルギー事情を勘案した省エネルギー対策、ひいては低炭素時代への対応を考慮したBCPの必要性が再認識されています。本講演では、データ保護から、データセンターネットワーク、クライアント仮想化、各種クラウドサービスなど、ICT技術を活用したBCP強化と、低炭素時代に向けた企業でのワークスタイル変革のポイントを、仮想ネットワーク製品やシンクライアントをベースとした「在宅勤務ソリューション」など、具体的な製品・ソリューションの活用を交えながらご紹介いたします。

14:00 ▶ 14:55 ユーザー事例セッション

### A-6 ICTを活かした建設業の成長戦略 ～技術を核として利益成長企業へ～

会場 ①



株式会社大林組  
グローバルICT推進室 部長  
(兼) エンジニアリング本部  
情報エンジニアリング部長  
**日野 泰成氏**

今、我が国の企業はICTによる生産性向上とグローバル化に活路を見出そうとしています。本セッションではBIM(Building Information Model)やモバイルツールによる生産プロセス改革への取り組みやグローバル化を見据えたICT整備計画を紹介します。また東日本大震災の事例をもとに、顧客志向のBCP対策についてもご紹介させていただきます。

### B-6 イノベーションを支えるグローバルIT/IS戦略 ～ミッションとチャレンジ～

会場 ②



株式会社リコー  
IT/IS本部  
IT/IS企画センター  
所長  
**石野 普之氏**

リコーグループの海外における売上げ比率は5割を超え、オペレーションがグローバル化しており、これを支えるITも同様にグローバル化が求められています。欧米企業の単純なコピーではなく、日系企業の強みを残しつつグローバルITの高効率化を実現するためのグローバルITガバナンスのあり方について模索を続けており、本講演では実際の経験談を交えながらその一旦をご紹介します。

15:10 ▶ 16:05 コンサルティングセッション

### A-7 クラウド最前線と富士通の取り組み ～震災を契機とした経営の変革とICT～

会場 ①



富士通株式会社  
サービスビジネス本部  
本部長代理  
**阪井 洋之氏**

クラウドの活用について、お客様の意識がコスト削減・効率化の目的から、積極的なクラウド活用へ変わり始めています。震災を契機とした防災/業務継続(BCP)での活用を始め、モバイルクラウドによる働き方の変革、新たなビジネス創出、そして社会インフラ基盤としての活用など、お客様のビジネスの変革をクラウドで実現しています。「人とICTをつなぐ」社会に貢献する富士通のクラウドの取り組みについて、具体的な活用事例を交えて説明いたします。

### B-7 想定外に備える事業継続計画

会場 ②



テイトトマックス株式会社  
取締役 パートナー  
**丸山 満彦氏**

東日本大震災では、地震・津波の規模、サプライチェーンの寸断、原発事故、電力不足など想定外の事態が相次いで起こりました。電力不足については、今後も続く問題と予想されます。本セッションでは、事業継続計画はどのように策定したら、さまざまな「想定外」に対応できるのかについて解説します。

16:20 ▶ 17:15 ユーザー事例セッション

### A-8 花王の情報化戦略 ～経営に貢献する「情報化戦略」～

会場 ①



花王株式会社  
情報システム部門  
副統括  
兼グローバルビジネスシクロナイゼーション部長  
**小和瀬 浩之氏**

経営強化には、商品開発力と同様に、情報やそれを生み出す情報システムのレベルを高めていく必要があります。正確なデータを日々、収集・分析(予測)することにより、マネジメントサイクルが早まり、打ち手(戦術)が変わる。この考えの下、花王グループの業務標準化をすすめるとともに、それを支える情報システムを世界で統一した事例を紹介します。

### B-8 震災とIT ～そのとき、東京海上日動は～

会場 ②



東京海上日動火災保険株式会社  
IT企画部長  
**稲葉 茂氏**

東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。弊社では被災されたお客様に一日でも早く保険金をお届けできるよう全社を挙げて取り組んでまいりました。この保険会社としての使命を全うするためにIT部門が取り組んできたこと、そして今改めて見直しをしているBCPについてご紹介いたします。各社様でのBCP立案にお役立ただけできれば幸いです。

## 総括講演

17:25 ▶ 18:25



一橋大学  
イノベーション研究センター長  
教授  
**米倉 誠一郎氏**

## 創発的破壊

～日本のパラダイム・チェンジ～

18:25 ▶ 18:50 スタンプラリー抽選会

# 特別講演・コンサルティング

10:35



11:35



インテル コーポレーション  
インテル IT 部門  
副社長  
キンバリー・S・  
スティーンソン 氏

## IT による企業競争力の向上 ～ビジネスの成功基盤の確立～



※同時通訳あり

今日の企業において、ITはビジネスにおける核として最も重要な位置を占めております。「強い」企業は、ITの能力を最大限に活用しながらビジネスを成長させ、また増え続ける顧客の要求にも応えています。今後、IT部門とビジネス部門の連携は益々重要になり、IT部門には企業の戦略の理解も求められます。本セッションでは、IT部門が企業の目標と連携し、ITを利用して必要とされる競争優位性を保つには何が必要かをお話いたします。

11:50 ▶ 12:35

ランチョンセッション

松花堂井当つき

### L-7 ビジネスに直結するアカマイ エッジプラットフォーム

今日の企業経営者やビジョンを持つビジネスリーダーにとっての大きな課題は、絶えず変化するビジネスとそれを支えるITインフラのギャップにあります。そのギャップを解決する手段として、近年、ITガバナンス、EA、SOAなどが注目されてきましたが、継続的、実践的な成果をあげるには、まだ乗り越えるべき壁があります。この課題を解決するためには、固定的なIT投資を管理しつつ、変化に対応し、変化を創造するためのインターネットクラウドの活用すること、すなわち、オンプレミスとインターネットクラウドを最適にバランスさせることが効果的です。グローバルなインターネット空間にある、アカマイのエッジプラットフォームが、如何にして、顧客満足、売上の拡大、コストの適正化を実現し、ビジネスに直接的な貢献をするか、また、クラウドの本質は何か、多面的な視点から、ご紹介いたします。



アカマイ・テクノロジー・システムズ株式会社  
社長  
池 真之氏  
技術本部長  
新村 信氏

### L-8 失敗しないITリスク管理 ～なぜ変更を可視化するのか?～

システムへの変更はシステムに大きな影響を及ぼします。誤った変更や悪意のある変更が及ぼすリスクは計り知れません。そのため、変更をきちんと管理することはITリスク管理に欠かせません。このセッションでは変更の可視化がもたらす効果を確認し、その重要性を考えます。



トリップワイヤ・ジャパン株式会社  
営業本部  
営業推進部  
部長  
中川 和芳氏

13:05 ▶ 14:55

ディスカッションテーブル

### C-3 迫り来る新たな黒船"コンシューマ発の新技術" にIT部門はどう対応すればよいのか ～クラウドやタブレット端末に代表される新たなITの潮流にIT部門はどう対処したらいいのか、それはIT部門のあり方を変えるのか?～

今、ITは企業活動だけでなく個人の日常生活にも深く浸透してきています。スマートフォンやタブレット端末、マルチデバイス環境の普及により、人々はいつでもどこでも必要な情報を入力し、ソーシャルネットワークでコミュニケーションができるようになりました。それらのサービスは、クラウドコンピューティングの強力なパワーが支えています。またITのコモディティ化は、企業の中でのITの専門家であるべきIT部門のあり方を揺さぶっているのではないのでしょうか。これらの新しいITの潮流に対して、IT部門はどう対応すべきなのでしょう。コンシューマ発の新技術を活用して、直接価値を提供する舞台にIT部門は立てるのでしょうか?セキュリティはどう守るのか?社員所有のスマートフォンなどを仕事に使用させるのか?といった具体論から、今後のIT部門のあり方を見据えて、参加者の皆様と議論し、解決策を探りたいと思います。



積水化学工業株式会社  
コーポレート 情報システムグループ長  
議長  
寺嶋 一郎氏

コマツ(株式会社小松製作所)  
執行役員  
情報戦略本部長  
副議長  
山根 宏輔氏

株式会社資生堂  
情報企画部長  
提箸 真賜氏

日本放送協会  
情報システム局長  
梅田 智志氏

### D-3 ITグループ会社に求められるイノベーション人材の育成 ～めざせ人材の宝庫～

クラウドやスマートフォンなど情報通信分野の目まぐるしい発展に、親会社の期待が高まる中、本質を見極めビジョンを描いてビジネスに活かし、ビジネスの効果を語れる人材が求められています。ITグループ会社には、確かな技術や、実績に裏打ちされたノウハウを背景に、親会社や顧客と新たな信頼関係を築ける素地があります。しかしまだその領域に踏み込めていないのが現状です。ITグループ会社の人材が、新たなトレンドと向き合い、経営的視点で情報を整理・表現し、ビジネスへ寄与できる宝へと飛躍するためのポイントを皆様と探ってまいります。



株式会社NHKメディアテクノロジー  
執行役員  
情報システム本部  
議長  
岡田 定晴氏

NTTコムウェア株式会社  
取締役NTTビジネス推進本部  
ビジネス企画部長  
副議長  
後藤 恒久氏

キリンビジネスシステム株式会社  
取締役  
営業システム統轄部長  
関澤 伸之氏

株式会社ジェイアール東日本情報システム  
常務取締役  
企画部長  
楠 重範氏

13:05 ▶ 14:55 JUAS クローズアップセッション

### E-3 スマートデバイスと社内情報共有

企業内に今まさに導入が始まっているスマートデバイス!本セッションでは、パネリストに主要3キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の方を同時にお招きし、我々ユーザー企業がどう活用すればよいのか?何が課題なのか?を本音でぶつけ合い、今後の方向性を模索します。



JUAS  
情報共有  
研究会  
幹事団  
積水化学工業株式会社  
コーポレート 情報システムグループ  
議長  
原 和哉氏

株式会社シーエーシー  
経営企画部  
齋藤 学氏

日本航空株式会社  
IT企画部  
経営サポートグループ  
佐々木 敬氏

ガートナー・ジャパン株式会社  
インフォメーション・コラボレーション  
リサーチディレクター  
志賀 嘉津士氏  
KDDI株式会社  
株式会社ティージー情報ネットワーク  
企画部 経営企画グループ  
副議長  
町田 智治氏

パネリスト  
ソフトバンクモバイル株式会社  
中山 五輪男氏  
株式会社NTTドコモ  
有田 浩之氏  
KDDI株式会社  
中島 昭浩氏

15:25 ▶ 17:15

ディスカッションテーブル

### C-4 ITを活用した新たなワークスタイルの創造

今、企業経営において、多様化、グローバル化、ワークライフバランスなど、これまでにないスピード感やフレキシブルな対応が求められ、ワークスタイルの変革が必要になっています。今般の大震災はこの動きを確実に促進していくものと思われます。

ワークスタイルの変革において、ITの効果的な活用は、大きな武器になります。特に昨今、ネットワークの高速化、スマートフォン・シンククライアント等の普及、SNS等の活用の進展など、ワークスタイルの変革のトリガーとなり得る、新たな技術が次々と登場しており、たくさん可能性を秘めています。

本ディスカッションテーブルでは、様々な事例をもとに、ITを効果的に活用した、ビジネススタイル・ワークスタイルの変革の可能性と課題について、皆様とともに探ってまいります。



アステラス製薬株式会社  
コーポレート IT 部長  
議長  
重富 俊二氏

株式会社岡村製作所  
情報システム部長  
副議長  
鈴木 泰久氏

帝人株式会社  
IT 企画室長  
石川 研一氏

ライオン株式会社  
統合システム部長  
馬場 純夫氏

### D-4 情報システム信頼性の理想と現実 ～震災対応を通して学んだ、実践的BCP/DRとは?～

今回の震災を教訓に、改めて情報システムの信頼性をどう担保するか、BCP(ビジネスオペレーションの復旧を計画する事)、DR(災害復旧対策。データ処理設備の復旧を計画する事)などの対応が問われています。

昨年度のディスカッションテーブルテーマだった、「情報システムの信頼性向上～日本の情報システムの品質とコストは過剰なのか?～」の継続議論として、今年度は特にBCP/DRに力点を置き、皆様と一緒に取り組み状況と何をどのレベルで行なうべきか議論していきたいと考えております。



ITエンジニアリング株式会社  
常務取締役 N-IT 統括 兼 C-IT 統括  
議長  
加藤 亨氏

アサヒビジネスソリューションズ株式会社  
執行役員・ソリューション本部長代行  
副議長  
武田 宏氏

株式会社菱化システム  
執行役員  
ERP 事業部長  
川上 宏氏

JX日鉱日石インフォテック/株式会社  
取締役  
業務部長  
島田 正志氏

15:25 ▶ 17:15 JUAS クローズアップセッション

### E-4 「チェンジリーダー」は育成できるのか?

「企業を取り巻く環境変化を踏まえ、自主的にITを活用した業務改革や部門の役割変革をリードし、継続的に牽引できる」ミドルマネジメントは本当に育成できるのか。チェンジリーダーの人材像と求められるスキルを議論しながら、有効な育成プログラムのあり方を探ります。当日は、Facebookを用いたオンラインでの議論も行います。



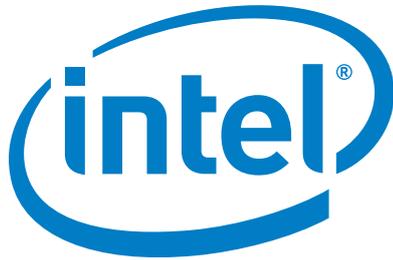
JUAS  
人材育成  
研究会  
議長  
全日本空輸株式会社  
IT 推進室 企画推進部  
企画・業務チームリーダー  
藤本 礼久氏

アイエックス・ナレッジ株式会社  
執行役員  
営業本部長  
岩田 好廣氏

株式会社ローソン  
IT ステーションシステム企画部長  
副議長  
納谷 武宏氏

株式会社シーエーシー  
サービスビジネス第三部  
キャリアアドバイザー  
寺池 光弘氏

## インテル株式会社



インテルは、革新的なコンピューティング技術で世界をリードし、仕事や生活で利用される様々なコンピューティング機器の基礎となる重要な技術を開発しています。イノベーションの領域を拡大することによって世界中の人々の暮らしをより楽しく、より合理的で、より充実したものにしようと努めています。インテルに関する情報は、<http://www.intel.co.jp> で入手できます。

### お問い合わせ

法人営業推進本部  
TEL: 03-5223-9100  
FAX: 03-5223-9181  
E-mail: kenichi.miyamoto@intel.com

## 株式会社 NTT データ



変える力を、ともに生み出す。

NTT DATA グループ

全てはおお客様のご満足のために。

「変革パートナー」として、変革の構想から実現までをサポートいたします。

### お問い合わせ

広報部  
TEL: 03-5546-8051  
FAX: 03-5546-2405  
E-mail: koho-collaboration@kits.nttdata.co.jp

株式会社アイ・アイ・エム



アイ・アイ・エムはコンピュータの性能管理分野における専門会社です。設立以来 20 年以上に亘り、800 サイト以上のお客様に対して、コンピュータの安定稼動をお手伝いしております。これまでの豊富なコンサルティング経験に基づいたノウハウをプログラム化したパッケージソフトウェア「ES/1 NEO」の開発、販売および各種サポートを行っております。「ES/1 NEO」をご利用いただくことで、OS からシステムリソース、ミドルウェア、RDB、ネットワークまで、コンピュータの統合的な性能管理を実現することができます。その結果、コンピュータの問題分析、システムチューニングの実施、サービスレベル管理の実践を行っていただくことが可能になります。

**お問い合わせ** URL: <http://iim.co.jp>

アクセンチュア株式会社



アクセンチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。21 万 5 千人以上の社員を擁し、世界 120 カ国以上のお客様にサービスを提供しています。豊富な経験、あらゆる業界や業務に対応できる能力、世界で最も成功を収めている企業に関する広範囲に及ぶリサーチなどの強みを活かし、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、その実現に向けてお客様とともに取り組んでいます。

**お問い合わせ** TEL: 03-3588-3000 (代表) FAX: 03-3588-3001 (代表)  
E-mail: [info.tokyo@accenture.com](mailto:info.tokyo@accenture.com) URL: <http://www.accenture.com/jp>

ヴァイムウェア株式会社



ヴァイムウェア(本社:カリフォルニア州パロアルト)は、あらゆる規模の企業を活性化、仮想化ソリューションおよびクラウド インフラストラクチャ ソリューションを IT 部門へ提供いたします。業界をリードする仮想化プラットフォームである VMware vSphere を導入することで、お客様は設備投資や運営経費の削減、俊敏性の向上、ビジネス継続性の確保、およびセキュリティの強化を、環境への貢献を行いながら実現することができます。2010 年度に 29 億ドルの売上、25 万社を超えるお客様、および 2 万 5 千社を超えるパートナーを持つヴァイムウェアは、最も急速な成長を遂げているソフトウェア企業のひとつであり、企業の CIO によって常に「最優先」と位置付けられている企業です。

**お問い合わせ** URL: <http://www.vmware.com/jp>

SAS Institute Japan 株式会社



SAS は、企業の経営課題解決を支援するビジネス・アナリティクス・ソフトウェアとサービスのリーディング・カンパニーです。35 年前に創業して以来、連続した成長を続けており、全世界で約 50,000 サイトで SAS が採用されています。日本においては、1,500 社 2,300 サイトの導入実績を誇ります。

SAS は、高度な分析と将来予測を実現するフレームワークにもとづき、顧客企業の 50,000 以上のサイトに革新的なソリューションを提供しています。複雑な経営課題を解決するビジネス・ソリューションによって迅速で正確な意思決定を実現することで、顧客のパフォーマンス向上と価値の創出を支援します。1976 年の設立以来、「The Power to Know® (知る力)」を世界各地の顧客に提供し続けています。

**お問い合わせ** マーケティング本部  
TEL: 03-6434-3702 FAX: 03-6434-3701  
E-mail: [jpnseminar@sas.com](mailto:jpnseminar@sas.com) URL: <http://www.sas.com/jp>

新日鉄ソリューションズ株式会社



NS Solutions

現場を知り尽くした豊富な業務知見が多くのお客様に信頼される理由。新日鉄ソリューションズは、24 時間 365 日の製鉄業の現場を支えることで培った経験と IT 力(情報技術力)を活かし、産業、流通・サービス、金融、社会公共分野の業務ソリューションを提供しております。また、最先端の製品群を検証した上で一貫した保守・運用を見据えた総合エンジニアリングを行う基盤ソリューション、運用管理やアウトソーシング等のビジネスサービスを提供しています。2007 年から IT インフラサービス「absonne/ アブソヌ」を提供、早くからクラウド時代を見越したサービスの導入に傾注、来春には震度 7 に対応した高品質の第 5 データセンターを竣工予定です。

**お問い合わせ** 総務部 広報・IR 室  
TEL: 03-5117-6012 FAX: 03-5117-7052  
E-mail: [lwanushi.takashi@ns-sol.co.jp](mailto:lwanushi.takashi@ns-sol.co.jp) URL: <http://ns-sol.co.jp/>

## 株式会社ソフトロード



ソフトロードはシステム刷新におけるリーディングカンパニーです。弊社独自の刷新技術「リフォーム」で、開発コスト5割以上削減しながら、桁違いの高品質、ユーザー負担半減を実現し、ユーザー企業の既存システムの悩みを解決します。

**お問い合わせ** 営業部  
TEL: 03-3453-2323 FAX: 03-3453-2328  
E-mail: niiduma@softroad.co.jp URL: <http://www.softroad.co.jp/>

## デロイト トーマツ リスクサービス株式会社



デロイト トーマツ リスクサービス株式会社 (DTRS) は、日本におけるデロイト トウシュ トーマツ (デロイト) IT リスクチーム一員として、世界品質のリスクサービスを提供します。

**デロイト トーマツ リスクサービスの特徴**  
総合サービスの提供  
IT リスクだけではなく、デロイト トーマツ グループと連携し、総合的なリスクマネジメント サービスを提供します。  
グローバルサービスの提供  
デロイトの全世界のメンバーファームと連携し、世界品質のサービスを、世界規模でご提供します。  
ソリューションの提供  
パートナー企業 (パッケージソフトベンダ、システムインテグレータ等) と連携し、リスクマネジメントの評価のみならず、導入サービスまで提供することが可能です。

**お問い合わせ** TEL: 03-6741-5410 050-3032-6080  
E-mail: mitsuhiro.maruyama@tohmatsum.com URL: <http://www.tohmatsum.com/jp/dtrs>

## トリップワイヤ・ジャパン株式会社



システムの変更コントロールソフトウェアの開発・販売およびサポートを行う米国トリップワイヤ社 (Tripwire, Inc. 本社: オレゴン州ポートランド) の現地法人として2000年4月、日本に設立されました。トリップワイヤ・ジャパンは変更管理によりセキュリティ強化、可用性向上、コンプライアンスの証明を実現する『Tripwire Enterprise』の販売・開発・サポートサービスを提供しています。ワールドワイドで2009年3月現在、6,550社以上のお客様に導入頂いています。

**お問い合わせ** 営業推進部  
TEL: 03-5206-8610 FAX: 03-5206-8613  
E-mail: sales@tripwire.co.jp URL: <http://www.tripwire.co.jp/>

## 日本アイ・ビー・エム株式会社



IT を活用しデータを知見に変え、企業や地球をよりスマートにするという IBM のビジョン「Smarter Planet」。あらゆるものから情報が発信される社会変化の中、迅速かつ効率的に高い企業競争力を実現するためには、IT にも新たな視点が必要です。

IBM では、ビジネスの継続性を高め、効率的かつ競争力の高い企業運営を行うために、クラウドの活用も含めた広い視点でのスマートな IT インフラ「Smarter Computing」をご提案しお客様のビジネスの更なる成長をお手伝いします。

**お問い合わせ** URL: <http://www.ibm.com/jp/ja/>

## 日本マイクロソフト株式会社



世界的な経済情勢の変化、グローバル化、進化するビジネスモデル、各種規制や法対応など、企業を取り巻く環境は近年になく大きく変化してきています。

マイクロソフトでは、こうしたビジネス環境の変化に迅速に対応し、企業価値を最大限高めるためのさまざまなテクノロジーをオンプレミス、クラウドそしてハイブリッドな形態でお客様の選択に合わせて提供しています。

**お問い合わせ** E-Mail: [jpnem@microsoft.com](mailto:jpnem@microsoft.com)  
URL: <http://www.microsoft.com/ja-jp/default.aspx>

株式会社 野村総合研究所

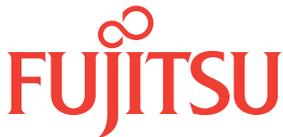


野村総合研究所

NRI は、日本初の民間シンクタンクである野村総合研究所と、システムインテグレーターの草分けである野村コンピュータシステムの合併によって生まれました。未来を洞察し、広く社会に提言する力、お客様の立場で考え、徹底して品質にこだわる姿勢など、それぞれの前身から受け継いだ DNA を融合しながら、時代を先取りする企業活動を進めてきました。今日、「未来創発」を実現する軸となるのが「ナビゲーション×ソリューション」です。予測、分析、政策提言などによって問題発見から解決策を導くまでの「ナビゲーション」と、その解決策を業務改革やシステムの設計、構築、運用によって実現する「ソリューション」。この2つを相乗的に機能させることで、NRI は新たな未来を創り出しています。

**お問い合わせ** TEL: 03-5533-2111 (代表)  
E-mail: kouhou@nri.co.jp  
URL: <http://www.nri.co.jp>

富士通株式会社



お客様が新しいビジネスを創造する場としての ICT 基盤——それが、富士通が提案するクラウド・コンピューティングです。

クラウドの活用領域は、バックエンドシステムにとどまることなく、「ビジネスの現場（フロントシステム）」や「社会インフラ（社会システム）」にまで拡大しています。富士通の強みは、高い信頼性を備えたクラウド基盤と支援サービス、長年の経験に裏付けられた SI サービス、お客様のグローバル展開を支えるサポートまでをトータルにご提供できること。つまり、クラウドが創造する新しい価値を着実にカタチにする総合力です。業界トップクラスの幅広いクラウドソリューションを用意し、お客様のご要望に合わせたモデルを組み合わせ、最適な課題解決を支援します。

**お問い合わせ** サービスビジネス本部クラウド戦略統括部  
TEL: 03-6252-2442 (代表)  
URL: <http://jp.fujitsu.com/>

アカマイ・テクノロジーズ合同会社



アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、日本国内で米アカマイ・テクノロジーズ (NASDAQ:AKAM) の営業・マーケティング・およびカスタマーサポートを行っております。アカマイのサービスは、世界 70 か国以上、1,000 を超えるネットワーク上に配置された 85,000 台からなるサーバーを通じて提供され、これらのサービスによって、Web サイトのパフォーマンスと信頼性が向上し、豊富で魅力的な Web コンテンツの配信が可能になります。インターネットのクラウド上にグローバルに分散配置された、世界最大のエッジプラットフォームは、企業のビジネスの収益向上に直結します。アカマイは、全世界のインターネットのトラフィックの約 20% から 30% を捌いています。Akamai (アカマイ) とは、「賢い」という意味のハワイ語です。

**お問い合わせ** 営業推進部  
TEL: 03-6702-0100 FAX: 03-6702-0050  
E-mail: [info\\_akamai@akamai.co.jp](mailto:info_akamai@akamai.co.jp) URL: <http://www.akamai.co.jp/enja/>

日本電気株式会社



NEC は C&C をとおして、世界の人々が相互に理解を深め、人間性を十分に発揮する豊かな社会の実現に貢献します。」という NEC グループ企業理念の下、C&C、すなわちコンピュータ (Computers: 情報技術) とコミュニケーション (Communications: 通信技術) の融合を通じて情報社会の発展に貢献し、グローバル企業として成長することを目指しています。

**お問い合わせ** URL: <http://www.nec.co.jp/>

コンサルティングセッション



JUAS クローズアップセッション



## プログラム参加企業

### ブロンズ協賛

株式会社アシスト

# アシスト

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らず、厳選したパッケージ・ソフトウェアをサポートや研修と合わせて提供しています。「情報活用支援サービス企業 No.1」を目指し、複数のソフトウェア・ツールと技術サービスに、これまで培ったノウハウを組み合わせた3つのブランド情報活用ソリューション『AEBIS(えびす)』・ITサービスマネジメント実践ソリューション『緑 (ENISHI)』・データベース基盤ソリューション『DODAI』を柱に、設計から構築、運用を支援するソリューションを展開、近年は OpenOffice.org や PostgreSQL、Talend などのオープンソース・ソフトウェアのサポートにも取り組んでいます。

お問い合わせ URL: <http://www.ashisuto.co.jp/index.html>

KDDI 株式会社

Designing The Future  
**KDDI**

KDDIは、さまざまなデバイスや信頼性の高いネットワーク、データセンター、付加価値の高い商品や各種サービスの提供を通じ、デバイスからアプリケーションまでが一体となったシームレスなソリューション「KDDI MULTI CLOUD」で常に最適な業務環境をお届けします。

「KDDI MULTI CLOUD」は、お客さまのニーズに応える豊富な ICT ソリューションをご用意し、すべての人々に安心・安全で快適なコミュニケーション環境の提供により、お客さまの「会社力」を最大化します。

お問い合わせ URL: <http://www.kddi.com/>

## スタンプラリー景品スポンサー

# アシスト

Designing The Future  
**KDDI**

# Microsoft®

# Deloitte. トーマツ.

## ドリンクスポンサー

**Asahi**  
その感動を、わかちあう。

おいしさ、そして、いのちへ。  
Eat Well, Live Well.  
**AJINOMOTO®**

**kao**

おいしさを笑顔に  
**KIRIN**

**SAPPORO**

**SUNTORY**

**morinaga**

**UCC**  
COFFEE

### JUAS フォーラム IT ガバナンス 21

2001年9月11日・12日 ロイヤルパークホテル

21世紀、経営革新のためのIT活用 ～革命から前提条件へ：戦略と実践、その核心を探る～

### JUAS フォーラム IT ガバナンス 2002

2002年7月23日・24日 ロイヤルパークホテル

経営とITの架け橋 ～日本企業の新たな出発を支えるために～

### JUAS フォーラム IT ガバナンス 2003

2003年7月8日・9日 ロイヤルパークホテル

企業価値創造の実践 ～企業の変革を加速するために～

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2004

2004年9月8日・9日 ハイアットリージェンシー東京

経営とITの新たなステージへ ～経営資源の全体最適に向けて～

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2005

2005年9月6日・7日 ハイアットリージェンシー東京

変化する『ITの使命』 ～経営成果最大化に向けて～

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2006

2006年9月5日・6日 ハイアットリージェンシー東京

新たなる『ITの使命』 ～企業感度の向上を目指して

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2007

2007年9月12日・13日 経団連会館

ビジネスイノベーションへの挑戦

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2008

2008年9月3日・4日 ハイアットリージェンシー東京

ビジネスイノベーションへの貢献 ～ビジネスプロセス革新を支えるIT～

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2009

2009年9月2日・3日 ハイアットリージェンシー東京

ビジネスイノベーションの実践に向けて ～今こそITで変革をプロデュースする～

### JUAS スクエア IT ガバナンス 2010

2010年9月2日・3日 ウェスティンホテル東京

ビジネスイノベーションの実現に向けて ～元気なIT部門が変革をプロデュースする～

### JUAS スクエア 2011

2011年9月8日・9日 ハイアットリージェンシー東京

IT部門がプロデュースする新たなる価値創造 ～構造変革への貢献～

## JUAS スクエア 2012

下記の日程にて開催の予定でございます。

2012年9月6日（木）・7日（金）

ハイアットリージェンシー東京

お問い合わせは下記までお願いいたします。

(社) 日本情報システム・ユーザー協会 JUAS スクエア事務局 姉川

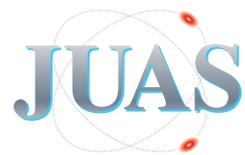
東京都中央区日本橋堀留町 1-10-11 井門堀留ビル 4F

TEL: 03-3249-4101

FAX: 03-5645-8493

E-mail: square@juas.or.jp

URL: http://www.juas.or.jp



社団法人日本情報システム・ユーザー協会